

つむぎ通信

vol.14

在宅連携センター「つむぎ」

TEL/053-451-2807 FAX/053-451-2808

✉soudan@hamamatsucity-medical-co.jp

在宅連携センターつむぎ浜松

検索

在宅連携センターつむぎは、高齢者を支える医療・介護・福祉関係者の相談窓口として、2015年度に開設しました。「つむぎ通信」は2019年度から在宅連携センターつむぎの周知と情報発信のため発行しています。バックナンバーは[ホームページ](#)からご覧ください。→
<https://www.hmedc.or.jp/tsumugi/information/>



つむぎは8年目を迎えました

2023年度、つむぎは開設から8年目を迎えています。
 昨年度は、まだまだCOVID-19の影響が強い1年でした。
 最近はそろそろ日常を取り戻しつつあると感じています。今まで控えていた事業所への訪問を再開し、皆様と情報交換をしていきたいと考えています。在宅医療・介護連携における専門知識の講義や地域ケア会議でのアドバイザーなども積極的に行っています。お気軽にお声かけください。
 今年度も丁寧に相談対応を行い、情報提供し、一緒に考えていきたいと思っています。
 お電話、お待ちしております。

2022年度活動報告

相談支援の実施状況

2022年度は、延べ相談件数1,258件、（実件数368件）の相談に対応しました。（表参照）

表：相談件数（前年度との比較）

| 年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|-----|--------|--------|
| 実件数 | 327 | 368 |
| 延件数 | 1,322 | 1,258 |

図1：相談者（所属機関）

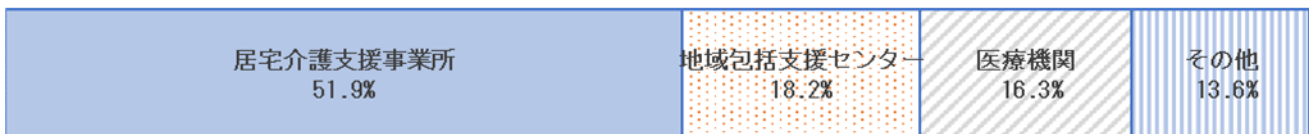


図2：相談内容



その他の主な活動

- ・関係機関（療養型施設・介護医療院）へのアンケート調査（2月）
- ・在宅医との意見交換会（10月）・地域包括ケア病棟意見交換会（9月、3月）
- ・在宅医療・介護連携に関する専門知識の講義（12月、1月）等々…

皆さまにご協力いただき、さまざまな活動を行うことができました。ありがとうございました。

相談事例 Q & A ～相談内容を紹介します～

Q → 認知症の人への対応について、地域ケア会議を開きたい。認知症の対応について、専門家に意見を聞きたいので紹介してほしい。(地域包括支援センター)

A → 認知症ケア認定看護師の参加を調整し、つむぎも一緒に地域ケア会議に参加した。



Q → 透析を開始した後、ひとり暮らしが困難となった場合の居場所を検討している。(病院相談員)

A → 透析の対応が可能な、病院・有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅の情報をお伝えした。

Q → 胃瘻の対応が可能な、ショートステイ先を探している。(ケアマネジャー)

A → 情報収集をして、受け入れ可能な施設の情報をお伝えした。また、医療依存度が高い方の受け入れ先として、地域包括ケア病棟の活用も案内した。



Q → 言語聴覚士が在籍する、通所サービスを探している。(ケアマネジャー)

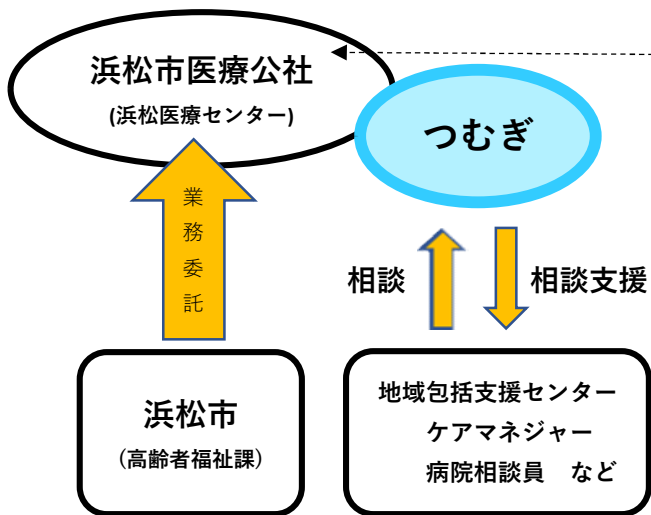
A → 言語聴覚士が在籍するデイケアの情報をお伝えした。また、言語聴覚士は不在だが、他の職員が発声練習など行っているデイサービスの情報もお伝えした。



Q → 介護医療院と医療療養病床の違いを教えてください。(ケアマネジャー)

A → 入院対象者や役割の違いなどをお伝えした。(つむぎ通信vol.12、13に施設紹介掲載あり)

わたしたち浜松市在宅医療・介護連携相談センター 愛称：「在宅連携センターつむぎ」について



☆「在宅医療・介護連携に関する相談支援業務」を浜松市から受託しています。

☆浜松医療センターの敷地内にはありますが、病院の業務からは独立しています。

☆医療・介護・福祉関係者からの相談に対応します。



これを機に覚えてほしいのじゃ。
まずは相談してみるのじゃ♪

2023年度 メンバー紹介

今年度のメンバー5名です。

よろしくお願いたします。

後列 齋藤(事務員) 鈴木(事務員) 山口(社会福祉士)

前列 水崎(保健師) センター長 岩瀬(医師)

